

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成19年7月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2870101041		
法人名	医療法人社団 甲有会		
事業所名	アネシス西宮		
所在地	西宮市柳本町8番7号 (電話) 0798-70-7452		
評価機関名	株式会社H. R. コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成19年5月17日	評価確定日	平成19年7月30日

【情報提供票より】 (19年4月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	17 人
職員数	18 人	常勤11人, 非常勤 7 人, 常勤換算14.4人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り	
	3 階建ての	2~3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	73,000 円	その他の経費(月額)	25,900 円
敷 金	有 (円) ③		
保証金の有無 (入居一時金含む)	450,000	有りの場合 償却の有無	④ / 無
食材料費	朝食	330 円	昼食 400 円
	夕食	円	おやつ 100 円
	または1日当たり		0 円

(4) 利用者の概要 (月 日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0		
年齢	平均 84.5 歳	最低	74 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	甲有会クリニック・甲子園口歯科・柳澤クリニック
---------	-------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>医療法人が母体のグループホームであり、医療面での健康管理が充実している。外観、内装とも暖色系の色調で統一され、法人の基本理念でもある「安心できる生活の創造・・・」を醸しだしている。室内は明るく心地よい陽ざしが、入居者の皆様を包むような穏やかな雰囲気がある。ホーム周辺には買物が楽しめるお店が点在しており、入居者の希望に沿って日々外出を楽しんでいる。</p>

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	<p>今回、管理者交替があり前回の改善課題までに着手できなかったようで、現在、介護計画及び見直しなどのあり方について取り組みは始めている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>職員は外部評価実施意義の理解・活用の必要性が理解できている。評価結果をふまえ職員全員でのサービスの質向上に向けての取り組んでいる。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4, 5, 6)
	<p>運営推進委員会は積極的に開催しており、グループホームでの入居者の皆様の暮らしぶりを報告し、活発な意見交換を交わしている。運営推進会議で出た意見は議事録としてまとめ実践に反映されるように報告を行っている。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7, 8)
	<p>家族がいつでも意見や苦情、疑問等を話せるような雰囲気作りを心がけている。入居者一人ひとりの様子を毎月1回請求書送付時に添付し知らせている管理者は積極的にご家族の意見を聞き運営に反映させるよう努力している。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	<p>入居者の皆様が地域の中で安心して暮らせる基盤作りとして、地域の自治会・商店・学校・民生委員等との連携を密にして、地域の夏祭りや学校行事に参加している。日々、入居者の皆様も手伝えることはないかを考えながら地域住民との交流に積極的に取り組む姿勢がある。</p>

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設内の見やすい場所・スタッフルームに6項目の理念を掲げている。地域密着型サービスとして大切な事は何かを、スタッフ全員で考える機会としている。	○	理念の6項目に掲げた内容を、スタッフ全員が理解を深め、理念の具現化への取り組みを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者交替があり、パート職員との理念の共有が不十分な現状ではあるが、全スタッフと日々の話し合いの中で共有し実践に向けて取り組む姿勢がある。	○	研修会やカンファレンスを通し、実践の場で理念を具体化していけるよう意識した取り組みを期待する。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者が地域の一員としての役割を常に考えながら、地域自治会・商店会の夏祭り・地域イベントに参加し入居者との交流を図っている。トライやるウィークの受け入れ、ドッグセラピー、入居者や家族が体験を伝える等、地域活動や人々との関わりを積極的に行っている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果をふまえて職員全員で取り組んでいたが管理者交替があり、改善にまで至っていない。	○	職員は外部評価の実施意義の理解や活用の必要性は理解できている。評価結果をふまえて職員全員でのサービスの質向上に向けての取り組みを期待する。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、グループホーム内の暮らしぶり等を報告している。また、運営推進会議で出た意見は議事録としてまとめ実践に反映されるように報告を行っている。	○	今後も活発な意見交換を交わしながら、地域の中のグループホームのあり方を模索し質の高いサービスの提供を期待する。
6	9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に市の担当者が参加しているので、入居者の皆様の暮らしぶりや問題点などの意見交換ができている。	○	今後も運営推進会議を通して積極的に市担当者との意見交換がなされることを期待する。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問機会をとらえて月1回、金銭面の報告とともに入居者の様子を報告している。	○	入居者の個々の健康状態や日々の生活の様子を情報提供すると共に、家族の要望が積極的に収集できる機会となることが望ましい。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談連絡記録を作成し、家族とスタッフのやりとりが細かくわかる記録になっている。また、管理者が積極的にご家族の意見を聞き運営に反映させるよう努力している。	○	相談連絡記録の意見や苦情の部分が明確に確認できるよう工夫が望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	定期的な職員の異動はないが、退職者があった場合等は止む得ず異動する場合がある。入居者への影響を最小限に抑えるため、入居者個々に対して検討を行い対処するように努力している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体の研修計画の中に位置づけされている。研修内容はDVDにして不参加の職員が共有できるよう取り組んでいる。	○	職員それぞれの理解や実践の習熟度に応じたグループホーム独自の学習会や研修会を年間計画に位置づけ、サービスの質を確保することが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同市内のグループホームと3ヶ月に1回交流会を行っている。また、スタッフの交流会も2ヶ月に一回行い、主にケースカンファレンスを実施している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者や家族が安心してグループホームへの入所を決定できるように、入居前には必ず見学して頂き、グループホームの説明を行っている。状況によっては、入居前訪問を行い契約は自宅で行うこともある。	○	今後もサービスを納得して利用していただくための工夫を期待する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントを通して、入居者一人ひとりの背景に目を向け共に地域で暮らすことを分かち合う努力がなされている。	○	入居者と職員が共に一緒に喜び、楽しみ合える関係を大切にし、心身ともに安定した生活が過せる関わりが望ましい。
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	発症経過シート及び私の基本情報シートなどを使い、入居者一人ひとりの思いや希望・意向の把握に努めている。	○	把握した思いや、希望・意向を職員、入居者、家族などと話し合い入居者本人の視点に立った計画に結びつく事を期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を活用したアセスメント、発症経過シートによる情報集を行い、個別具体的な介護計画が作成されている。	○	家族・本人の要望・希望をカンファレンスを通して職員間で共有し、個別具体的な介護計画に反映させ介護計画に基づいた支援が求められる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個別的な介護計画の作成はなされている。また、日々の記録も生活面、身体面に関する記録がしっかりなされている。	○	今後は、日々の記録が介護計画に反映されるよう見直し日を設定し現状に即した計画の見直しを期待する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ディケアを通して入所の相談を受けたり、機能訓練のための施設利用など、本人、家族の状況や要望に答えられるよう努力している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を前提に、入所前からのかかりつけ医の往診や受診ができるような支援体制がある。ホームのかかりつけ医の定期的な内科・歯科の往診がある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所の条件として、歩行可能な方となっている。入居者や家族が安心してサービスが利用できるよう重度化した場合の指針を作成している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者に応じた声かけや接し方で、その方のペースに合わせた対応を心がけ、プライバシーを損ねないような支援がなされている。	○	個人情報保護法の理解に努めながら、チーム全員が情報を共有していくことが望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個別ケア表に入居者の希望を記入して入居者のペースで生活できるような支援体制をとっているが、今回職員体制の変化のため、取り組みが中断している。	○	認知症の進行に伴い自己決定・希望の表出が困難になっていくため、入居者一人ひとりの望むその人らしい過ごし方が出来る支援が望まれる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者、スタッフで、その日の朝に、昼・夕・翌朝のメニューを決めて買物をし、みんなで食事を作っている。	○	今後も一連の作業を通して入居者の持つ力を最大限発揮できるような取り組みに期待したい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴曜日は決めていないが安全に入浴していただくため時間帯は決まっている。入浴を嫌がられる方に対しても、さりげなく声かけをし、プライドを傷つけないよう配慮しながら最低週2回は入浴していただけるようチェック表を作成している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を大切にしながら、新聞を取りに行く、民謡大会に出演する、来客を迎える係りと個々の習慣、希望、有する力を把握した支援がなされている。	○	入居者一人ひとりの希望や力を見極め、役割・楽しみごとが実現できる継続的な取り組みを期待する。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じこもりにならないように、一日1回、カラオケ、買物（スーパーやパン屋さん）外食などの外出を行っている。また、季節によって、お花見などの外出支援を実施している。	○	今後も、一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせた、入居者本位の外出支援を期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけない暮らしの大切さを認識しつつ、施錠しない工夫をしているが、夜間のみ各ユニットの施錠を行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難誘導マニュアルを作成している。年2回消防署の協力のもと避難訓練を実施している。	○	地域の協力体制及び災害に備えた備品等の準備については、運営推進会議で協力を呼びかけていく予定にしている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者一人ひとりの食事量、水分量を個別の記録で把握している。また、嚥下状態にあわせた食事形態を確保している。	○	関連機関の栄養士に、定期的に栄養バランスチェックを依頼する取り組みが望まれる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・共用スペースに観葉植物や花を置き、共有空間のテラスにテーブル、椅子を配置して、心地よい風と光の中で過ごせるよう配慮している。換気もよく気になる臭も感じられない。キッチンで調理する職員の姿が見られ、入居者が安心してくつろげるの環境作りが出来ている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で馴染のある、仏壇・机や化粧台、絵画などを置き、入居者が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。畳敷きのコーナーがあり、一人で過せる暖かい環境作りが出来ている。		

※ は、重点項目。